

以下、本文-----

進行上皮性卵巣癌に対する術前化学療法の至適レジメンに関する後方視的検討に関する研究

1. 研究の対象

2007年1月1日から2016年12月31日の10年間にIII～IV期の上皮性卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の診断で術前化学療法を受けられた方で、TC療法（パクリタキセル、カルボプラチン）、dose-dense TC、weekly-TC、TC+BEV（アバスタチン）併用維持療法のいずれかを受けられた方。

2. 研究目的・方法

進行卵巣癌に対する術前化学療法の有効性は示されていますが、現在最適な治療方法（レジメン）は決定されておらず。いくつかの方法が使用されているのが現状であるため、過去に術前化学療法を受けられた方の診療録を参照し、至適なレジメンを検討することを目的とする。

方法は、上記に当てはまる方の診療録を主管研究施設である兵庫県立がんセンターに送付し、集積されたデータを解析する。

<研究期間>

1. 症例集積期間 2020年3月1日～11月30日
2. 解析期間 2020年12月1日～2021年2月28日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1) 患者基本情報

年齢、全身状態、臨床進行期（最終診断）、組織型（最終診断）

2) 治療開始時の情報

身長、体重、血栓症の有無、腹水の情報等

3) 術前化学療法の情報

治療開始日、治療方法、投与回数、治療効果、合併症の有無等

4) 手術情報

手術日、術式（摘出臓器）、病理学的残存腫瘍の有無、重篤な合併症の有無等

5) 術後化学療法の情報

治療法、投与回数等

6) 患者予後情報

再発進行診断日、死亡日または最終生存確認日、死因

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

兵庫県立がんセンター 婦人科部長 長尾 昌二

その他、中国四国および兵庫の大学病院・がんセンター・基幹病院が研究に参加する可能性があります。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505

南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部附属病院

産科婦人科 氏原 悠介

TEL：088-880-2381

e-mail：ujihara@kochi-u.ac.jp

<研究代表者>

〒783-8505

南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部附属病院

産科婦人科 前田 長正

TEL：088-880-2381

<研究代表者>

〒673-8558 明石市北王子町13-70

兵庫県立がんセンター

婦人科 長尾 昌二

TEL：078-929-2380（内線8088）

-----以上